



◆ 野外オペ「テーレン」岩石編

しっこいぞ、テーレン。今回は、「岩石編」。えっ？岩石なんて興味ない？普通の人は興味ないんですけど・・・。私も凡人なんで興味ないんですけど。しかし、よく見るといろんな顔つきをしてるんですね。昭和基地周辺のテーレンも含めた野外オペ地域は、リュツォ・ホルム岩体と呼ばれる5～10億年前の岩石が分布しています。主として、変成岩の「片麻岩」で構成されています。変成岩というのは、地殻変動等で高温高圧状態下に置かれたときに、岩石の構成鉱物が再結晶（その条件下で安定になるように組成や結晶構造が変化する）してできる岩石です。昭和基地のある東オングル島では、主にザクロ石片麻岩や角閃石片麻岩がほぼ南北の走行で見られます。南極は、2億年ほど前には、アフリカ南部やマダガスカル、スリランカ、インドと地続きで「 Gondwana大陸」を形成していました。その後、大陸移動で現在の位置まで移動したわけですが、地球の変動の歴史を長年にわたって刻み続けてきました。2月中旬の野外オペで参加した、昭和基地から東、約600kmにあるリーセルラルセン山周辺（後日紹介）は、ナピア岩体と呼ばれ、地球最古の岩石に近い約38億年前の岩体が分布しています。



では、テーレンで撮影した岩石の写真を紹介します。変成岩が主体ですが、多種多様な岩石が見られます。しかし、申し訳ありません。岩石名がわかりません。自分の不勉強さを南極に来て恨みました。知識だけで知恵がないのも困りものですが、やはり知識がなければ物の見方が浅くなります。皆さん、今のうちにしっかり勉強しておきましょうね。

ということで、ここで一句「石なれど顔に刻むるいにしえを」



◆ JARE57 隊員紹介

須藤 健司 (42) 夏隊同行者 東京都出身
総合研究大学院大学 複合科学研究科

都立小石川高校から東京学芸大学教育学部教員養成課程に進学。2年間の民間企業勤務後、都立小の教員となる。小学時、映画「南極物語」を見て、南極に憧れる。十数年前、南極に関するNHK講座を目にし、その夢が再燃。観測隊OB等が集う「南極倶楽部」に入り、西堀栄三郎の御子息と知り合うなど、情報収集や人脈を築く。その頃「教員派遣プログラム」が始まり、応募を試みるも都教委から了承を得られないまま数年が過ぎる。夢が捨てきれず、一念発起、2014年3月に退職。1年間の学業の後、現大学院大学に入学。念願叶い、今回の派遣となり、内陸氷床掘削班としてH128でアイスコア掘削にあたった。氷床の想像を超える広さに驚嘆した。皆さんへは「人生、何度倒れてもいいと思うんです。その度に絶対に立ち上がることが重要だと思います」とアドバイスをいただきました。奥様の理解あってこそこの南極。感謝しています・・・と。



ソフトクリームを手に満面の笑み